

絵画教室ネットワークGa-net発足10周年を迎えて、そしてこれから

5月末の晴れた日、淀川を前にしたオープンカフェにスタッフ4人が集まりました。

赤座「今年6月でガネットが10周年を迎えます。今日は運営スタッフの対談という形で、これ迄を振り返り、なおかつ将来を見つ、お話ししてみたいと思います。最近の絵画教室事情から、これからどんな風になっていくんだろう、Ga-netの今後の抱負や予定など、盛り込んでお話ししてみましょう。」

<ガネットのはじまり>

北田「私は設立当初は会員で、2007年から、Webや新聞の担当をしています。その前というか、そもそもGa-netはどういういきさつで始まったのですか?」



北田絵里子: Web担当・らびす

る人は運営や指導法などの情報がなく、孤立している!と感じていました。」

佃「そうですね、きっかけみたいなのが聞きたいですね。」

栗山「僕は大学院を卒業後、幼稚園の空き教室を借りて絵画教室を始めました。周りに教室をやっている人なんかいないので、どうやって始めるのか、どんな指導をしたらいいのか、月謝はどうするか?など、疑問だらけで自分なりに試行錯誤していました。学校現場では同業者の研究会があるのに、地域の絵画教室をしている人は運営や指導法などの情報がなく、孤立している!と感じていました。」

赤座「そうですね。私は企業の造形教室の講師をしていて、研究会や研修等行っていました。横の繋がりが無い。どんな事で困っているのか、こんなことはどうしたらもっといい方向に進むのか、など自由に話し合うネットワークが欲しいと感じました。」

栗山「そんな時、2003年『全国造形表現・図画工作・教育美術研究大会』が大阪で行われ、そこで「地域の美術教育部会」で私のこれまでの取り組みを発表する機会がありました。他にも様々な教室の方が発表されていました。赤座さんには、そこでコーディネーターをしていただきました。その時に集まったメンバーで、「今後も同業者どうし、情報交換の場をつくらう」と言って始まったのが、Ga-netでした。」

北田「同業者じゃないと理解できない事って多いですね。そうした情報を交換しあう場というのは、それまでそんなになかったのではないのでしょうか? Ga-netの存在は大きいですね。」

栗山「それぞれのやり方で運営しているので、どんな事を共通理解にして集まるのか、情報を発信するのがスタートのテーマでしたね。」

佃「栗山さんがインターネットで配信をしよう、と言ってホームページをつくりましたね。まだそれほどネットが普及していない時期に、どうかな?と少し不安もありました。」



赤座雅子: 事務局・キッズクラブ

北田「パソコン苦手、年だからできない!とおっしゃっていた先生が、いつの間にかやらブログやFacebookを作ってる。」

赤座「携帯電話でメールと写真を送れたらブログはできます!と、私は勧めています。」

栗山「せっかく絵画教室のネットワークを作るのだから、全国の教室が繋がると面白いと思っていました。実際、当初は、九州から北海道までの教室の方がネット上で登録してくれました。東京や北海道にも、同じ仕事をしている方がいる!と

想像するだけで、絵画教室の仕事が楽しく感じられました。また、家の近くの教室を探している保護者や子どもたちにとっても、この絵画教室のネットワーク情報は役に立ったのだと思っています。インターネットでの情報は、運営する上でなくてはならない時代ですね。」

赤座「ネット上の情報は貴重です。けれども同時に、顔を合わせて話し合う機会が必要になってきているように感じます。」

<研究会の様子>

佃「研究会実技の時にいつも感じるんですけど、皆さん、それぞれ細かい独自の技がありますよね。私自身が制作(日本画)しているので興味深いです。」

北田「導入などは勿論ですけど、箸ペンの使い方ひとつでも研究されてるなあ。」

赤座「同業者にしか褒めてもらえないウラ技ですね。(笑)」

佃「絵の指導法は聴いていて参考になりますね。言葉がけとかタイミングとか。それこそ個人技みたいな領域かしら。」

北田「こんなにベテランの先生なのに悩んで迷ったりしている。若いのに頑張ってるんだな、と私は反省すると云うか、とても励みになります。」

赤座「どんなことをポリシーにしている教室なのか、ことばの端々から垣間見えますよね。」

栗山「この場だから聴いてもらいたい、というのも出てきますね。ライバルかもしれないけど同士でもある。年数を重ねて、いい仲間、関係づくりができていくように感じます。」

赤座「大阪以外での研究会開催も行ないたいのですが。」

栗山「ずっと課題になっています。どこかの教室が手を挙げてもらいたいですね。」

<最近の絵画教室事情>

佃「大阪出身は4人の中で私だけですけれど、関西人のベタな挨拶では、儲かりまっか?と言ったりしますが?」



赤座雅子: 事務局・キッズクラブ

赤座「ぼちぼちでんな(笑)と言いたいのですが、あきまへんな、という声も多いように感じます。」

北田「景気回復じゃないんでしょうか?」

赤座「子どもが絵や工作が好きだからといってまっすぐ絵画造形教室に来るとは限らないようですね。」

栗山「ゆとり教育が叫ばれていた時期には、少しは地域での芸術教育に目が向けられるかと思っていましたが、学校教育の補完で学習塾通いが増えましたね。さらに、学校で図工・美術の時間が削減される中で、創作活動の中でこそ体験できる学びの価値が、見えにくくなっていきます。結果や答えをすぐに期待し、そこに行きつくまでのプロセスを楽しむという体験が少なくなっているように思います。地域の絵画教室では、何かに夢中になって、試行錯誤し、失敗をも前向きに捉えられる力が育ってほしいのですが。」

赤座「学校内で全部済んだら親は楽ですね。」

北田「体験レッスンの数が減ったと聞きます。」

赤座「行政も含めて企業が理系・アート系の無料ワークショップをするようになってきています。夏休みはスケジュールを組んで親子で渡り歩く。」

佃「体験レッスン・ジブシー?子どもに色々な事を経験させたいんですね。」

赤座「それと同様に子どものお稽古が細分化してきています。つくる、という領域でも理科の実験教室やレゴブロック、図形パズルなど多岐にわたっています。」

北田「その中で絵画造形教室を選んで来てもらってる...大変、というかありがたいですね。」

赤座「見極めるのも早い、と大手の先生から聞きます。2~3年は見守ってほしいのに、合わない、と判断すると数ヶ月で辞めてしまい、すぐに次を探すとか。」

<特長のある絵画教室、展望>

赤座「最近のウチの教室の保護者に関してですが、ブログなど見て研究してきているなあと思います。作品とか子どもの表情とか。それと、どういう考え(教育観)を持って活動しているのか、よく読んでくれています。」

北田「私はそんなにアピールしていないつもりですけど...してますか? (笑)カリキュラムの内容や子どもの様子をブログで見ても、楽し



磯貝享平: 磯貝文子絵画教室

私がGa-netの研究会に参加し始めてから1年と少し経ちました。講義を受けるだけでなく、講義をする側の場まで与えて頂きました。この場をお借りして1年間で感じたことを書かせて頂きたいと思います。Ga-netは絵画教室ネットワークと有るようになっている教室の先生方とつながりをもつことが出来ます。そして、各先生方の講義では、課題の違いはもちろんのこと、取り組み方の違いや、狙いの違いなど普段知り得ることが出来ない内容を知り、体験できるということが駆け出しの自分にとってとてもありがたい環境であります。講義をさせて頂いた側の観点として、普段の取り組みに対しては、もちろんいろいろ考えを持ち、取り組んでいますが、それは対生徒での考えだけにとどまっていた。ですが、講義する場を与えて頂いた際に、狙いを子供に伝えるだけでなく、狙いを伝えるためにはどのようにすれば伝わるのか、と、今まで考えていたようで、案外見えてなかった部分のはっきりと見え、改めて自分の指導を見直し、クリアにすることが出来ました。様々な課題の取り組みの中で、特に印象的だった物が、12年度第4回講座の中の版画の作成でした。版画といえば、木を掘ったりと面倒だったり刃物を使い危険だったりと取り組むのに対し腰が重くなってしまいがちでしたが、講座の中では、紐や、布、ビニールといった素材達のマチエールをその組み合わせから出来る版画というやり方を講義して頂きました。安全かつ、とても楽しい絵が沢山出来ている見て、これなら自分にも出来る!ととても参考になりました。以上のように子供達が、一人で絵を描いては出来ないことを絵画教室で学ぶように、私たち講師も普段では一人ですが、Ga-netを通じて、より多くのことを学ぶことが出来ています。今後も様々な講義、活動からいろいろと学ばせて頂きたいと思っています。

そうだから体験に来る人も多いようです。ネットの力ですよ。」

栗山「学校や園では公平性や安全性を重視する教育にならざるを得ません。保護者(親)は自分の子どもの個性や能力を活かしてくれる場と先生を熱心に捜しているんですね。教室の持つ教育観はポイントが大きいでしょう。」

<絵画教室、これからは>

赤座「機会があることに絵画教室を訪問させてもらっていますが、将来不安だという声が多くありません。ただ総合して感じるのとは、とにかく絵画造形教室はなくなると。子どもは基本的に描くつくることが好きです。ゆっくりと楽しめる場を求める保護者は少数であってもいるでしょう。80歳代で5人くらいの生徒がいて、作品展をしてブログも作っていらっしやる先生がいます。」

佃「見習いたい、ホント励みですね。」

赤座「人数や経営を気にせず、体力がある程度あれば継続できる。それと人間性がいいと人が離れない、というのも継続の要因でしょうか。」

栗山「少し別の観点からいうと、イタリアのレジオエミリアの幼稚園では「芸術士」という人がいて、保育士とはまた別の観点から子どもの感性を引き出す役目をしています。日本でも高松市の取り組みや課外教室などで芸術を生かした実践が目立っています。これからの時代、芸術家や絵画教室の先生たちがアトリエから出て、教育現場の中で何か活躍できたらいいですね。」

赤座「行政と組んでワークショップすると、多くの親子にアートを楽しむ、絵画教室の存在を知ってもらうきっかけになると思います。」

北田「造形まつりがお休み中です。」

佃「私の教室の子どもで参加した経験がある子は、夏休みしないの?と今でも聞かれます。」

赤座「そうですね。造形まつりの運営スタッフを経験して、自分ひとりでも小規模開催できるノウハウを学べるようにしていきたいです。」

栗山「実技研修としても意義があるでしょう。」

赤座「多少の体力と、人が集まってくれるウチにやらねば!ですね?」

栗山・佃・北田「そう、そう!」(笑)

対談の内容についてご意見ご感想、質問等お問い合わせください。本年度からの会員特典として、作品展や講師募集等の情報をGa-netのホームページに掲載します。その際には電子メールでの情報に限ります。皆さん、ぜひ活用してください。(赤座)

ガネット通信 一年間の研究を振り返って

磯貝享平(磯貝文子絵画教室)

私がGa-netの研究会に参加し始めてから1年と少し経ちました。講義を受けるだけでなく、講義をする側の場まで与えて頂きました。この場をお借りして1年間で感じたことを書かせて頂きたいと思います。Ga-netは絵画教室ネットワークと有るようになっている教室の先生方とつながりをもつことが出来ます。そして、各先生方の講義では、課題の違いはもちろんのこと、取り組み方の違いや、狙いの違いなど普段知り得ることが出来ない内容を知り、体験できるということが駆け出しの自分にとってとてもありがたい環境であります。講義をさせて頂いた側の観点として、普段の取り組みに対しては、もちろんいろいろ考えを持ち、取り組んでいますが、それは対生徒での考えだけにとどまっていた。ですが、講義する場を与えて頂いた際に、狙いを子供に伝えるだけでなく、狙いを伝えるためにはどのようにすれば伝わるのか、と、今まで考えていたようで、案外見えてなかった部分のはっきりと見え、改めて自分の指導を見直し、クリアにすることが出来ました。様々な課題の取り組みの中で、特に印象的だった物が、12年度第4回講座の中の版画の作成でした。版画とい



栗山誠: ガネット代表・キッズアート 大阪総合保育大学准教授

2012年度 第1回講座 【2012年6月24日(日)PM1:00~4:00】

1.実技講習:
『夏休み工作～ラミネーター水族館』フワフワ粘土を使って
講師:北田絵里子(絵画造形教室らびす)



2.「夏休みの絵画と工作の教材研究」年齢と題材が異なる子の活動について～
計画の立て方と指導 や支援の方法を参加者同士で考え検討(フリーディスカッション)。

3.絵画制作
以前、研究会で行なった実技をもとに、実践した作品を見て、皆で発展させたカリキュラムにしていた。

2012年度 第2回講座 【2012年10月28日(日)PM1:00~4:00】

『母の日の似顔絵プレゼント』
～幼児から小学校低学年を対象にした指導～
講師:河瀬かずこ(ヨークカルチャーセンター奈良こどものアトリエ)

絵を描くのが得意な子から苦手な子まで、どのようにすすめていこうか、といまだ日々の試行錯誤を繰り返しているというベテラン河瀬氏。
今回は母の日のプレゼント似顔絵ということで、色画用紙の色目や、お母さんを飾る花を染めたり、アイデア一杯の作品を披露。
こんなやり方もあるかも、と参加者会員からのアドバイスも出て、新たに意欲が湧いた様子。



『子どもに教える簡単デッサン』
～9歳から中学生までを対象とした指導～
講師:磯貝享平(磯貝文子絵画教室)

高校受験、大学受験の生徒を専門に教えている磯貝氏。従来言われている「よく見て描く」ということにプラスして、認識し、理解して描く、感じて描くということの必要性を語られた。
実際にアバタのヴィーナスの石膏を持ち込み、受講者がどのような印象を受けたか、触った感じはどうだったかなど、技術だけでは描けない奥深さまで講義された。
絵画教室の先生で、専科を出られた先生であっても、子どもに教える視点で具体的な言葉がけを覚えてもらい「とても参考になった。」と、感想しきりであった。



『作品を飾ろう!額をつくる』
～ローラーと紙工作～
講師:北田絵里子(絵画造形教室らびす)

作品ができたなら作者は見てもらいたい、飾りたくなる。厚手の画用紙1枚から額を作る。いつもアイデア満載の北田氏。磯貝氏の実技で写生したレモンの絵を貼付けて、作品完成!
作品展でも使えそう、とお土産の紙工作。



『体験レッスン』について話しましょう～フリートーク
コーディネーター:赤座雅子(キッズ・クラフト)

実際に教室の実例を紹介。ホームページからの申し込み、その対応など具体的な話からすめた。
体験レッスンの有料無料、その考え方も教室によりさまざまであることが分かった。
在籍している生徒を大切にすることは勿論であるが興味や関心をもって体験を受けに来た親子に対して、入会するしないに関わらず、絵画や造形を通して成長するきっかけをアドバイスすることも、絵画教室のひとつの意義かも知れない、と提案した。

東北支援造形プロジェクト(案)
報告:島田時子(あすなる絵画研究所)

陸前高田に子ども達が制作した作品をプレゼントしようと取り組みを始めている、あすなる絵画研究所の島田時子氏から報告。
地元の廃材でつくったポストカードなど、今から始められる活動があるのではないかと、現状を紹介された。

2012年度 第3回講座 【2013年2月10日(日)PM1:00~4:00】

『土粘土の実技』
～幼児から小学校低学年を対象にした指導～
講師:白波瀬達也先生(常磐会短期大学幼児科講師)

実際に参加者一人につき、約2キロの土粘土を用意して頂いた。購入から準備、当日の活動、後片付け、リサイクル(ゴミ処理)、保存方法、そして再び制作できるやり方。この流れを実技をしながら講義して頂いた。
大掛かりなカリキュラムになるので会場を借りている教室にとっては大変な作業になる。けれどもプロセス全体を活動としてとらえることを提案された。

のりやボンド、クレパスを触る事を嫌がる子が年々増えてきている。こうしたダイナミックな活動を皆で一緒にすることから苦手だったことを克服し、つくることを楽しめるきっかけになるのではないか。
「頑張ってる子ども達、保護者達と一緒にトライしてみようか。」と気持ちが生えた参加者も少なくなかった。



2012年度 第4回講座 【2013年4月21日(日)PM1:00~4:00】

『いろいろ版画もりだくさん!』
4月21日Ga-net研究会は「版画」というカテゴリーで各教室の取り組みを紹介してもらいました。
後半は、今年3月に帝塚山キッズアート帝塚山教室を閉室した栗山誠さんが、その15年間の思いを語りました。

●スチレン版画
発表者:河瀬かずこ(ヨークカルチャーセンター奈良こどものアトリエ)



みなさまの教室の課題を考える時のヒントになったら嬉しいです。スチレン版画は毎年冬の課題として3年続けて取り組みました。子どもたちの反応を見ながら毎年少しずつ技法を発展させたりテーマを変えて楽しみました。

ローコスト、手軽で多彩なマチエールが出せるやり方であったのでとても参考になりました。(感想:磯貝享平さん)

●ぱっくんオレンジ/とかげパレード
発表者:佃美智子(アトリエFiaFia)



版画をはじめオレンジの描画など導入や言葉がけが丁寧で分かりやすく、このカリキュラムは何を一番の目的にしているのか感触を楽しむのか観察するのかなどははっきりしていてやり易いと思いました。(感想:岩男久美さん)

●フィンガーペインティングからモノプリント
発表者:北田絵里子(絵画造形教室らびす)



遊び感覚でのお絵描き、描いたもので収まらず、そこからの偶然性より生まれる作品と多方面からの刺激、驚きを受ける事が出来とても興味深い画題に感じました。
(感想:磯貝享平さん)



●黒画用紙版画/糸で版画
発表者:栗山誠(帝塚山キッズアート)

黒画用紙on白水彩+パステル...いい効果が出ますね。糸で版画は年賀状やカードにも使ってみてみたい技法です。(感想:河瀬かずこさん)

●100円ショップで見つけたボックスから
発表者:岩男久美(アトリエHandHand)



最近の教室での制作を持参。100円ショップで見つけたボックスから。M・デュシャンの大ガラスのよう?

『創造的な場所としての造形絵画教室』
～帝塚山にあった子どものアトリエの15年～

幼児から小学生の子どもにとって、造形絵画教室とはどういう意味があるのだろうか。子どもは何を思い、造形教室に通ってくるのだろうか。そんな、子どもにとってのアトリエを模索した15年間を画像を交えながら紹介しました。
お話:栗山誠(帝塚山キッズアート)



一つの絵画教室としてのあり方、方向性というものを知る事が出来、今後の自分の指導のあり方について考えさせて頂けるととても大切なお話でした。絵を描く事の大切さという観点だけでなく、その行為に行き着くまでの時間の大切さ、その時間を作るための空間と、まだまだ勉強しなければいけない事が沢山ある。と改めて感じさせて頂きました。
(感想:磯貝享平さん)

2013年度 研究会(講演・実技ワークショップ等)の内容

回	日程	主なテーマ
1	6月30日(日)	(実技) 夏休み工作実践 / (研究) 『こどもの時間』映画鑑賞会
2	10月20日(日)	(実技) 色～色遊びから混色、技法、様々な表現へ / (研究) 絵画作品研究
3	2月9日(日)	(実技) 平面から立体へ～身近な紙で世界が広がる / (研究) どこまで教える?どこまで自由?～指導法研究
4	4月20日(日)	(実技) 科学とアートを楽しもう / (研究) 絵画作品研究

◎ 会場はサクラクレパス大阪本社ビル(森ノ宮下車、玉造通り南200m)をお借りしています。
◎ 研究会参加費は材料費・資料代等を含め、基本的に各回1000円(非会員は1500円)です。
◎ Ga-net ホームページでは常に新しい情報を掲載しておりますのでご確認ください。